

# 怪我をするな

司馬遼太郎  
え・中・西・勝



新聞をみてると、神戸の三宮のトルコ風呂でころんと大怪我をしたおじさんが、労災保険をもらつたという。

この人は港湾関係の会社の係長さんかなにかで、この日の夕刻、ある船の一等運転士を接待するために五千円もらつて出た。

「トルコ風呂へ行きまほ」

ささやかな供応である。あとは飲屋でビールでも飲むつもりだったのであろう。善良で律義な古参サラリーマンの姿が眼にうかぶような情景である。

ところが、風呂のなかをハダカで歩いているときにタイルで足を

すべらせてしまい、その勢いでガラスをぶち破り、運わるく破片が胸につきささってしまった。命にかかる重傷だったという。五千円をもたせて送りだした会社のほうでも驚いたろうし、トルコ風呂をごちそうになっていい気持になつていて一等運転士さんのほうはなお驚いたことだろう。

もちろん、家で待つてゐる善良な奥さんは仰天したにちがいない。むかしの武士の妻なら主家のために夫が戦場で死んでも涙をこぼさないのが美德だったそうだが、この夕、彼女の善良な夫の戦場はトルコ風呂であった。事故の本質は武士の場合とおなじとはいえ、やはり情けなさに涙をこぼさざるをえなかつたろう。

おなじ日の朝、編集の五十嵐恭子さんが原稿をとりにみえて、「鴨居玲さんが、素人の運転する自動車にのせてもらつて安全地帯にのりあげ、腕を骨折したそうです。全治一ヶ月半だそうです」といった。

どうも、ちかごろ、怪我のはなしをよく聞く。われわれの子供のころの大人たちは、あまり怪我をしなかつたようと思うが、最近の大人はよく怪我をする。やはり、自動車とかトルコ風呂とか、むかしはあまり盛大でなかつた機械や設備が都会にひしめいているせいかもしれない。

事故というのは、ひよんなことで来る。終戦直後、私がいた新聞社にナニガシという善人がいた。

そのナニガシが大阪の四ツ橋にある電気科学館に取材に行つた。付近は荒涼とした空爆のあとで、この建物だけが奇跡的に被災をまぬがれているのである。電気科学館といえばかつては小学生の人気の中心だった施設だが長い戦争のあいだ、ほとんど閉鎖同然になつてゐた。やつと和平がきたというので、「電気科学館はどうなつてゐるかしら」

という素朴な関心に応えるのが、ナニガシの取材の眼目だった。ナニガシが訪れる、電気科学館のほうでもひどくよろこんで、なかでも案内係の老主任などは、

「新聞記者が来てくれるなんて、何年ぶりですかなあ。やはり、

平和が来たんですね

と、涙を流さんばかりであったという。

「あなたは、戦争に行つていらっしゃったんですか」

と、老主任は、始めて会つたナニガシに特別な懐しさをみせた。むりはなかつた。戦場にいた者も内地にいたものも、たがいによくぞ生き残つたという実感が、毎日、事にふれて味わされた時期だつたのである。老人は、

「このあたりは、ひどい空襲でしたよ」

と、こわかつたことなどを、つぶさに物語つた。やがて立ちあがつて、

「こうしているのも何ですから、いちど館内をみていただきましょう」

二人は、エレベーターの前に立つた。いうまでもないことだが、当時は日本中が荒廃していく、動いてるエレベーターなどはめずらしかつたころである。老人は、ナニガシを遇するには、エレベーターがなによりの御馳走だとおもつたのであろう。その点、三宮のトルコ風呂で負傷した会社員とおなじ誠意であつたといつていい。

「先日、やつと故障をおおしたんですよ。いま大阪中でエレベーターが動いてるのは、ここくらいのものじやないでしようか。さあどうぞ、お入りください」

「いえ、あなたからどうぞ」

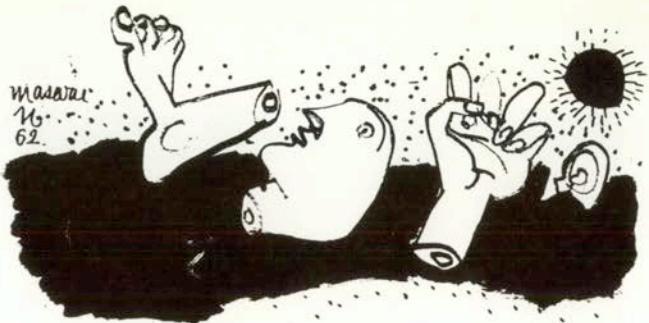
「それはいけません、お客様からどうぞ」

この二人の善人はたがいにゆずりあつて果てしもなきそうにみえたが、ついに老人のほうが折れ、

「それでは失礼ながら、お先きに入らせていただきます」

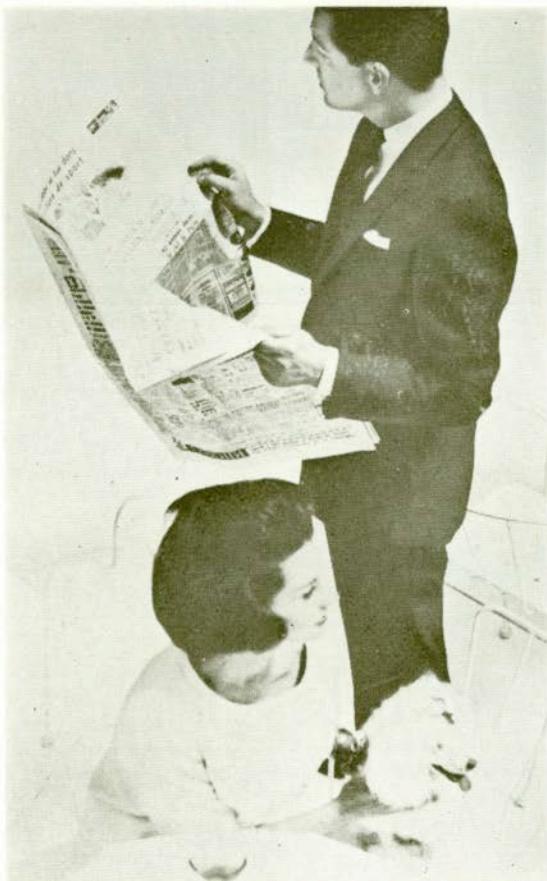
そのまま、老人ははるかな地下室まで落ちて死んでしまつた。エレベーターはその階まで来ておらず、ただトビラだけが開いていたのである。

人生、どこに伏兵が待つてゐるかわからないが、とにかくちから怪我が多い。



# 金 柴田音吉洋服店

神戸・元町通四丁目 ④ 0693  
大阪・高麗橋二丁目 ② 2106



# FUGETSUDO



御中元好適品

GAUFRES  
ゴーフル

¥400-¥2,200

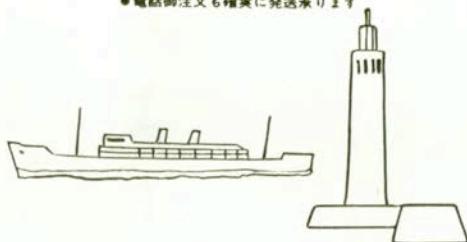
神戸カラーのいっぱいあふれた  
送ってこわれない  
日もちのする東京送り最適品…

FANCY BOX  
和洋銘菓の  
お取合せ

¥800-¥3,000

色彩と御味のバラエティに富ん  
だ新アイデアの贈答品…

●電話御注文も確実に発送承ります

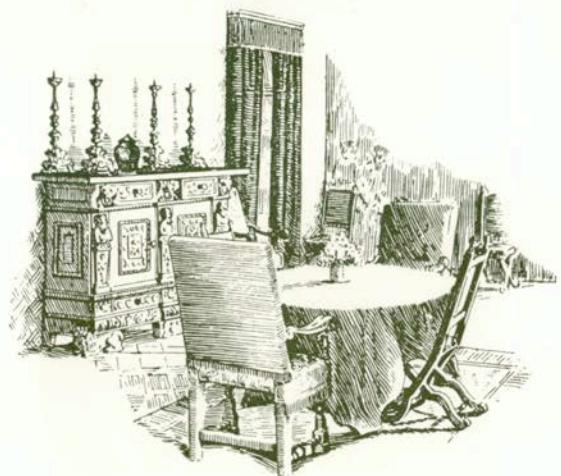


創業 明治三十年  
風月堂

神戸・元町三 TEL. 神戸 ③ 695・696



家具・室内装飾・工芸品



吳郭陳設  
みよくわ

神戸大丸前  
電話神戸(3)三三八八九番  
大阪店  
電話大阪神百貨店三階  
姫路店  
電話姫(2)一二二一一番  
やまとやしき百貨店三階

永田良介商店

大丸前 TEL { (3) 5520  
                                  (3) 1290 }

# 神戸に心の結束を

直木太一郎／神港倉庫KK社長

山口泰弘／川崎電機製造KK副社長

**直木** 一まつ元町ですけれどね、昨年ローテリーカラーブの世界大会のときに外人客が沢山来ましたが、あんな時には外人は元町に行くんですね。道巾も広いしゆつくり青空を仰いで歩くという元町が好きなんだな。そうして町で外人同志の知り合いが通りで行きあうとお互いに手を挙げて挨拶を交わすんですよ。

そして楽しそうにショッピングをしているという風景が見られたんですが、これは神戸の元町通りでないと見受けられませんね。」

山口 「神戸の未来は文化商業都市が一番いいだろう。というのが大体一致した考え方なんだな。ところが神戸を文化商業都市にするにはどうしたらいいかとなれば、神戸の代表的なショッピングセンターとしての元町などを整備をともと真剣に考えよしなさい、ねえ、しそ。

私は昔の元町というものはあまり馴染はないんだけれども、『神戸の元町』というものは、大阪・京都でも他都市の人は皆んな『元町』というものに夢をもっているんだな、東京あたりでもわざわざ元町までショッピングにやつて来るんですね服地とか靴などを、東京の一流のぜいたくな連中が買いに来てるんだよ。これはね元町だけではなく神戸全体に云えるんで神戸の街というものに対して他所の人は憧がれを持っているんですね、ところが他都市からそんなに憧がれを持たれている神戸の現状は

どうか、現実にはそんな憧れがを満足させるにふさわしい都市じゃあないというので来た人はガッカリするんだ。そういうことのないよう、ほんとうに憧がれの街にふさわしい神戸にならなくてはいけないとと思うな、文化設備などももつと完備させてね、そこは昔のように神戸だけよくなればいいという感覚でもいいんで、関西といふものとの関連において繁栄策を考えて行くことが大切だよ」

直木 一橋かれの街にふさわしい神戸として、こちらも  
態勢をつくらなくてはいけないな、それに元町などは関  
西だけでなく日本の元町として世界に通用するんだから  
そんな意味でもやりがいもあると思うよ。だから商品も  
いいものを揃えて宣伝するようにならなければね」

山口 一最近貿易の自由化で外国のシーラン商品もどんどん陳列してやつて行くということが出来るようになる訳だからね。それとね、必ず話に出ることなんだが神戸には中心になるセンターがないといわれていることなんだよ。そういう中心をかたちづくる意味もあるし、神戸に一番かけているものといわれてる、公会堂というか文化センターを創つてだね、神戸でいろいろな文化的な事業とか会合が開けるように文化の伸長をはからねばいけないというのは皆一様にもつていらつしやる意見です

直木 「この間、経済同友会で出た話なんですが、いま

まで郊外に多かったプロ野球の球場が最近は都心に作られるようになり、都心の球場はほとんど成功しているんですね。阪急の西宮球場もいまは駄目らしいので阪急は

神戸電鉄と提携しているでしよう、だからそれを契機にして、阪急を一つ引張って来てね、いまのイーストキャ

ンプ跡あたりに、阪急のホームグラウンドにして神戸市民がこそってこれを応援して神戸市民が心を一つにするというのに役立たせることが出来れば」という意見も

山口 「それもいいことだね、どちらにしてもみんなの意見が結局神戸は文化商業都市にして行くことが神戸の使命として一番いいんだと考えてながら、どういうのかそういうのが神戸市民にまとまつたムードがないでし

よう、だから神戸全体にそういうムードが懲りいね。そういうムードを盛り上げ、つくって行くことが第一なんだから『神戸っ子』あたりにもそんな工夫をしてもらつ

てムードをこしらえてもらいたいものだな」

直木 「事実どんな都市に行つても公会堂はあるものね」

山口 「この間、倉敷に行って見て驚いたよ、まああ

の倉敷は大原總一郎さんがいらっしゃるんだが流石だと思つたな・立派な公会堂ですよ」

直木 「関西では京都あたりの文化施設が立派ですね」

山口 「京都にしても、倉敷にしても文化都市として恥

じないだけの設備をもつていますよ。美術館あり公会堂

ありでね神戸も文化都市という以上は是非欲しいナ」

直木 「ほんやりしているうちにね、神戸 자체が非常

に遅れていますね。それが神戸だけを見ているとそんなに変わらないんだが、あちらこちら旅をして見ると、他所が非常に進んで来ているんですね、良くなつて行つてるんですよ。神戸に帰つて見ると変らないで、汚なくなり古びてきてるんですよ」

山口 「我々にして見れば、神戸は新しさのある明るい

洗練された街だと思っていましたしね。恐らく全国の人気がそう感じていらっしゃるに相違ないんですよ。ところがね、うかうかすると逆に一番遅れた街になりかねませんよ」

直木 「嫌なことを言うようですがね、こんなことはやはり市が中心になつてやらなくてはいけないんですね。市の政治力が問題になりますよ。神戸駅に地下をこしらえ、高速度鉄道を乗り入れることでもね。決定されるま

でに市会でも十年以上もんじでいるでしよう。計画をたててから何んと三十年も経つていてるんですよ。こんな遅い行政がありますかね。こんな遅いテンポでほかのこともやつていたんではね。ほかのことも皆んな駄目になつてしまふよ。一体こんなことは何處に原因があるのかと云う事が問題なんですね」

山口 「驚きましたな。神戸の人は皆んな気が長いのかな（笑）私はどちらかと云うと気が短かいのが神戸っ子だと思っていたんだが……」

直木 「市民が気が長い訳はないですよ、然しね市の当局にどうも経済的な感覚のある人があまりいないと云うんですね。なるほど福井市とか姫路市は市長が土建の業者でね、福井市などは度々不幸に見舞われる町なんですが下水道工事などでは完壁といつてよい程、良くなつているんだな、姫路も良くなつているが今の市長さんも企業家ですからね。神戸市はそう云つた意味で、企業的感覚がいまの市長さんや市の当局の人にかけているのではないかと思うんですね」

山口 「というのは、意慾があつても能力がないということになる」

直木 「そういうことは何だが、感覚がづれているのだから『夢のかけ橋』も結構ない事には違いないんだがね」

山口 「もつとね、手近に早急にやらなくてはならない問題が迫つかけて来ていますよ。本当に当面の問題に早くとつ組んで行かなければならないんじゃあない」

直木 「またね、中突堤にマリンタワーが出来ること



(写真は左より直木さん、山口さん)

になつてはね、昔、神戸の市民の氣風といふものは、非常に開放的で華やかだったんですね。そういう氣風というのがあると、我々も錯覚しているんですよ。

現在の市民の氣持といふのは、保守的になつて来ていますね。總べて何をやるにしても非常にテンポが遅いんだな、先程山口さんもいわれたように、はらはらな感じがする、もつと神戸市民の心がまとまるような方向に進んで行かなければいけませんね」

山口 「かつて阪本知事から『神戸に財界がない』といわれたんですね。そうじゃないんで財界はあるんだが、纏りがないんだ、これはどうすればいいんだろうな」

直木 「名古屋の場合は戦前は非常に保守的だったんですが、戦後は非常に積極的になつてほとんど、がめついい程、名古屋に金を持って来る人、名古屋のためになる人をどんどん迎えたんですね。その点神戸はお高くとまつているんでね」

山口 「名古屋は偉いねと思うね、初めは何でも地元主義でね極端にいえば排斥的なところがあつたんだが、ある段階まで来ると、それではいかんと、門戸を開放して資本も人も名古屋に導入しなければ名古屋の発展はないということにちゃんと気づいて、それに気づくとすぐ決心してね」

直木 「すぐ実行してね、ほんとうにがめつい程なんです」

山口 「そんな、大転換をやつてのけるところに偉さがあると思いますよ」

直木 「神戸の人にはそんながめついところがないですね。なんとか神戸をもつと綺麗な、いい街にしたいです。見て下さいよ」

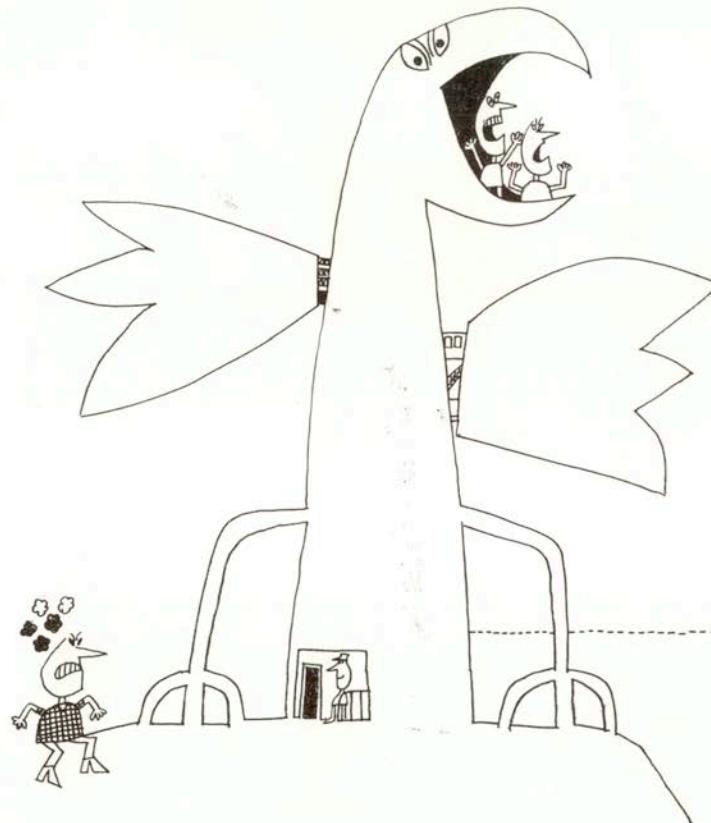
山口 「そう云うところを『神戸っ子』で大いに研究して見て下さいよ」

(文責・小泉康夫)

直木 「そなだもつとつり合いのとれたことを考え

# 神戸だからえがく夢 No.9

文・藤 本 義 一  
え・佐 々 木 侃 司



たかいたかい市民税!!

イカリ鳥の塔、建つ!!

何をもたもたしてんのや……ハラ  
がたつ市民。コーベ・イカリの会  
発足。イカリ鳥の塔を建て、ハラ  
のたつ市民は塔のテッペンにあが  
ってわめくのだ!!

「公園をつくれっ」

「コーベを健康にしろ」

「マヤクを追い出せっ」

イカリ鳥の塔は有名になりました

市のおエラ方はこんどこそ、ホン  
トウに働かなければならいでし  
よう。



悲しい街になり果てるのか？

「離宮道」という名の停留所があるだけで、私たちにはトンとつながる縁のなかつた武庫離宮が市民に開放されるという記事を新聞で読んでから、もうすいぶんになる。西歐式の庭園がつくられるんだとか大きい噴水がご自慢になるんだとかのことであつた。しかしその丁寧な説明がいつごろ、どんな具合にすこし忘れていたのか、これは市が払下げを受けてからのことだから、ヤキモキしてみてもはじまらない。だがこうした未来図が一日も早く着工され、完成されるためにも私たちちはおりにふれ、市の事業を注目していよう。武庫離宮についてもう少しくわしく書きたいと思つて「あそこへは入れるのかしら」と友人に聞いたら、「いや、まだ全然ダメだ」という。

ても貰えない。神戸市へ、私は市民税を8950円もおさめているのである。ああ、悲しいことよ（こんな上品な言葉で、このオレの気持がいいあらわせるものか。エーイ、クソッタレめ！ ああ、これで胸がスッとした——）

ひきあいに出して恐縮だが、私がつとめている大阪のことについて、ある雑誌にちょっとした随筆を書いたら、しばらくして大阪市役所から市政概鑑を贈られていた。これを参考にといふ心づくしがありがたい。神戸では、古本屋へ手をまわして薄っぺらのテキストをやつと手に入れて、これが生れてこのかた住みついたわが愛するふるさとさ。イヒッヒッヒ。

ところで県や市は、なんでも新しいものをつくったときはマスコミをつかつて花々しく私たちへ知らせてくださるが、その反面、私たちの知らぬ間に消されていく愛着深い記念物がある。どこかでひとり残されているのかも知れないが、そのゆくさきを教えていたいものだ。

まず第一に県庁前、三角地帯のとっぱしにあつた御影石の小りす2匹、2-1-3号まえの「神戸つ子」に、ここが大好きだと書いたら、「あいつが好きならつぶしてしまえ」といわれたんじやないかと勘ぐりたくなるほど手廻しよく雑誌が出て2-3日目ににつぶしかかり、アツというまにかき消えた。交通難のこのごろのこと、道路にするのは一向にかまわない

しかし、あのモニュメントを立てるといつたいどこへやつたのだ。これこれのところへ移しかえたと、私たちに知らせてさえもらえば、少々早くともたずねても行こう。だがつぶして、なくしてしまったんだといわれれば、私は県民税だか市民税だかをおさめるのがバカらしい。

市庁前の花時計わきに立つてゐるトーテンポールは、昨年のみならと祭のとき、さらに大きいのがシトルから寄贈されたものであるとすれば、これまで立つてゐたのはどこへやつたのか。なにも日本あればいいというものじゃない。アラスカあたりへ行つたら、ひとつこの町に何十本と立つてゐるのである。その落ちつきを市民に知らせるのも、市公報の仕事ではないか。できれば以前のトーテンポールが「動物園なり、海浜公園なり、六甲か奥摩耶なり、ふさわしいところに置かれることを願つてゐる。

最後に、私が第2回（昨年12月号）に書いた「廃船をつなぐ／アイデアは、その後、神戸商船大学が市民になじみ深い大帆船、進徳丸を市でホステルにしてもらいたいと申し入れたことで一挙に実現するかに見えたが、神戸の財界人が「ホステルじゃなしに、ホテルにするべきだ」といつたために行き惱みの状態を見せてゐる。これはぜひ、両者が歩み寄つて、とにかく、今では世界的にも珍しい帆船を、ぜひ神戸の海辺にいつまでも残していただきたい。これすらもお流れになつたら、私は気が違つてしまふかも知れない。全くほんとのところ——。

特定の一人のスターについて語る記事なのかも知れないが、私は好きなスターが沢山いるので人に限定できない。しかし、編集部の五十嵐恭子さんから“女性のスターを選べ”と言う手紙を頂いたので、私の好きな女性スターを一覧記することにした。まことに八方美人的な原稿になりかねない。しかも紙数が制限されている。そこで、私の本来の仕事の一つである批評をあわせて書くことにした。好きなスターなればこそ、こうあって欲しいと言う希望があるわけだ。ここに選んだスター達は、私が好きだと言うだけでなく、好きな人が沢山いる女性である。前置きはこの位にして本題に取りかかることにしよう。

彼女と神戸へ数回来ているが、当地の方からチエミ一家と同じ口レックスの腕時計を安くやすりで頂いたのが思い出される。キングの『テネシーからさのさまで』と言う歌手生活十周年記念アルバムはチエミの今までの数々のヒットの集成として音楽ファンに是非聞いて頂きたいレコード。彼女と旅行していて、あまりダーリンと仲良くするのを見て、私もついに独身クラブ脱退を決意した。もちろん、チエミに第一に報告するつもりである。

**沢たまき** 若手の歌手の中では最も将来性のあるミュージカル・タレント。

六月21、22、23日の三日間神戸国際会館に一緒に来ていた。彼女に望むことは一に勉強、二に勉強。素質豊かなれば勉強すべし。この人も昨年比利・吉田君と結婚ホヤホヤである。

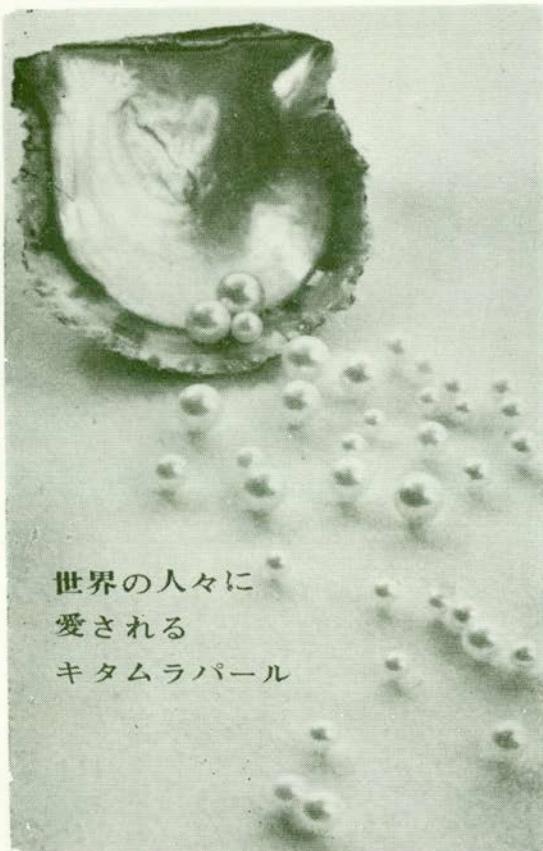
## 私の好きなスター

## 「私の好きなスター達」

## いソノテルヲ

青山京子 映画、テレビの美しいスターとして活躍する彼女は、東宝のニューフェイス時代からのファンで、黒沢明の『生きる』など立派なものだった。自由ヶ丘のジャズのレコードのかかる喫茶店で会つたら、『チエント・ベイカー』の唄にしびれる』と、なかなかジャズに興味を持つているようだったので、私のラジオ番組にゲストとして出て頂いた。演技派としての成長を期待したい。この他、水谷良重、小割まさ江、星野美代子、後藤芳子、小野道子、夏川かほる、園さゆり、丸山清子、沢村美司子、ザ・ピーナッツ、中原美沙緒、雪村いづみ、坂本スミ子、ベギー葉山、エセル中田、南かほる、万里昌代、中田康子、岡田茉利子、有吉佐和子など好きである。

(ジャズ評論家)



世界の人々に  
愛される  
キタムラパール



北村パール

北村真珠株式會社

神戸／元町2・東京／スキヤ橋センター  
TEL. ③ 0072 (571) 8032

23

フランス菓子 ドンク



本	店・センター街	TEL. ③1750
サンドウイッチバー	ラーラ・本店 向側	TEL. ③5974
芦	屋	店・国電北駅前通
山	手	店・中山手二丁目
そ	ご う	店・神戸そごう地階菓子売場
大	丸	店・神戸大丸地階菓子売場
姫	阪	店・大阪 梅田コマ劇場 横
	路	店・山陽百貨店地階食料品売場



Fashion

VIENNALINE

世界のめがねがやって來た

神戸眼鏡院

元町3・電③3112-3・0551(貿易部)



夏のレジャーに  
Water Proof

時計は美田

MOTOMACHI-3  
TEL (3) 1798

## 花時計

### コクトーの 遺言

松井高男



尾上菊見さん

### レリーフ

神戸の女流舞踊家・尾上菊見さんが、第八回『名流さつき会』に初出演して成功をみせ、邦舞界の話題をさらつたのは、ことしの二月のことであった。

『名流さつき会』というのは、毎年、大阪新歌舞伎座でひらかれる舞踊大会の名称だが、この催しは『名流』とうたつているとおり、東西名家が（邦楽もふくめて）一堂に会して妍を競うという、いわば邦舞の振興発展のトップをゆく企画として定評あるもの。

まだらら若い菊見さんが、この格式ある舞台でできたのは、家元・尾上菊之丞師に、その実力と才能を認められてのことではあつたが、率直にいって、実際の舞台をみるまでは「どうなることか」

コクトーの「オルフェの遺言」が近く神戸でも上映されたが、久しぶりに楽しい映画である。「コクトーの潜在意識が燃やす烈火を追つかけるのはくたびれる、精神分裂者のたわごとだ」といつのけたアメリカの批評家の言葉は、一応痛快なようだが、近代的合理主義一本で割り切るにはたいへんもつたいない作品である。コクトーは、そうした狐火を楽しむことを知らぬ人たちのためにナゾ解きのカギをすっかりそろえてくれる映画のなかのミネルバとの対話がそれだ。非現実に現実の外観を与える映画というもののカラクリを存分に楽しみながら、コクトーは

詩を語り、詩人を語り、自らを語つてみせる。したがつてこれは「コクトーの遺言」である。その意味で、きわめて非論理的なエピソードの積み重ねのうえに、きわめて論理的な作品が出来上がつた。こうした作品をつらぬくたくましい『詩人の精神』が、コクトーのナルシズムに向けたこちらのほこりをぶらせる。思えばこうして思うままに遊べる詩人がおり、遊ばせることのできる国はしあわせだ。せちがらい国には、反抗と創造の精神を忘れたせちがくらみみちい詩人しか棲息しえないのかも知れぬ。

というよう、不安のほうが強かつた。しかも出し物は宮蘭節の『鳥辺山』で、家元の（縫之助）と競演する（浮橋）という至難な遊戯の役であった。

しかし一幕が上がり、やがて幕がおりて、新歌舞伎座の会場に、われるような拍手をきいたとき、わたしは地元神戸に、こうしたヒノキの舞台にたちむかう新進舞踊家の出現したことを、はつきりと知らされた。

その後、五月にひらいた神戸国際会館でのリサイタルでも、創作に古典舞踊に、めざましい活躍がみられたのは頗るしいがぎりである。

（神戸新聞社・佐藤記者）

神戸国際会館の北側にある国際コンタクトレンズ研究所は弱視の人のためのお店でもあります。神戸掖済会病院で眼科医長をされた、医学博士の向山昌信さんが開かれているので、向山さんは眼科の専門医で、国際コンタクトレンズ研究所の経営もされているブレイングマネージャーなのです。

向山さんは「近代科学の粋をあつめて誕生したコンタクトレンズはいま大変人気をあつめていますがコンタクトレンズを装用する場合は医師に限られる」ということが医療法で定められているので、私のようにブレイングマネージャーが必要な訳なのです。

ところが本来弱視の人を医療によって救うはずのところが、案外女性の美容を保つために装用される人が多くなって75%から80%までが女性のお客さまで、美しい女性に毎日取まかれているんですね」と微苦笑された。

「よくアメリカの水兵さんも来いらっしゃいますね」

「あれは、アメリカ第七艦隊の連中で、初めて装用した水兵の同僚達が艦が入港する度にやって来るんですね。水兵さんなどには都合がいいでしょ。それにアメリカでは200ドルもかかるんです。何分、眼鏡と違って、眼にものを入れると痛いだろうと思われる方が多いんですが、そこは科学的に充分処理されているので大丈夫です。皆さん「思つたよりずっと楽ですね」と仰言いますよ」と説明して下さいました。

## 一店紹介

### 国際コンタクト

#### レンズ研究所

#### 国際会館1階

美しく自然の容貌のままで

現在では映画スター、スポーツ選手などに愛用され、お馴染のロナルド・リーガン、デボラ・カースポーツ選手ではリチャード・コナリー、巨人の中村稔投手なども愛用者です。コンタクトレンズは、あなたの美しい容貌をそのままに生かして呉れる訳です。またどんな激しい運動でも邪魔になりませんし、危険性もなく、絶対レンズが曇らないのです。また弱視の方で従来のメガネでは見えなかつた、強度乱視・高度近视、円錐角膜というような症状の方でも、立派によく見えるようになります。コンタクトレンズのよりすぐれた性能が充分に発揮されます。

費用はこんな程度です。

一応全国協定価額があり、両眼8000円、装用技術・診療代を含めると9200円程度であります。大切なのは、眼の角膜のカーブにレンズがよく合うことです。それにはレンズの製作を自由に出来る店、装用の方法の指導が完全に出来る店を選ぶことが大切です。国際コンタクトはそんな条件を完璧に満してくれるアフターサービスの行届いた店でもあります。

### コンタクトレンズの知識



LEISURE  
SEASON

暑さをふき飛ばして

若ものたちは

青い山 で

八月の太陽をうたい

波に飛沫をあげて

たわむれる

K  
O  
B  
E の 夏 は

夢があふれる

たのしい季節





夏の楽しい  
おしゃれ  
さわやかさ  
美しさを  
たのしく  
おくる店  
おえらび  
ください

夏の装い  
お中元の贈物は  
このハイセンス  
の店で

写真は左より、男子物のレ  
ヂャーウェア（フナキヤ）  
ソニーテレビ（元町電機）デ  
ィズニーマンガのカヌー浮  
袋（キヨシマ屋）サマーバ  
ッグ（イクシマヤ）花模様  
の水着（エスター・ニュート  
ン）ストライプの夏布地ヘ  
トーレイ洋装店）舶来のシ  
ヤツ（サカエ）ビニールの  
ボール（キヨシマ屋）





創作ハンドバッグ

アクセサリーと工芸品

元町一 (3) 二四〇五五六

元町一 (3) 五一二一

紳士洋品の店

サカエ

元町一 (3) 五一二一

装いに華を添へ

トーレイ洋菓店

新聞会館1階 二二八一八一八

男子洋品の店

フナキヤ

元町三 (3) 三六一七

あらゆる電器製品の店

元町電機

元町六 (4) 三七〇一五

輸入婦人服地雜貨の店

エーススター  
ニユートン

トア・ロード G・一八一八

オモチャの店

キヨシマ屋

元  
三町  
二二  
四丁  
九目